

# KYOEI NEWS

共栄システム株式会社

〒550-0011 大阪市西区阿波座1丁目15番7号  
TEL(06)-6535-7511 FAX(06)-6535-7517  
e-mail osaka@kyoeisystem.co  
URL http://www.kyoeisystem.co.jp

## 【運送会社の経営情報】 ..... 運送業の業務改善事例

先頃開催された「第2回生産性国民運動推進協議会」において運送事業者の業務改善実験結果が紹介されました。概要は次のとおりです。

### 1.対象事業者の概要

- |         |   |
|---------|---|
| 1)発荷主企業 | 穀物商品製造販売業(D 県下) 対象荷種 穀物商品                         |
| 2)着荷主企業 | X 社(物流業務は子会社に委託)                                  |
| 3)運送事業者 | D 県 A 運輸(従業員 30 名、保有車両台数 28 両)                    |
| 4)業務内容  | 関東、東海、D 県地区配送業務 大型・中型合わせて 10 両/日提供                |
| 5)物流条件  | ①受付時間 6:00~11:00 受付順に着床(受付時間後は翌日回し)<br>②担当貨物は手下ろし |



### 2.運転者の労働時間の実態

- 1)着荷主での荷待ち時間が長い。(平均 3~5 時間)  
順番を取るためにドライバーが必要以上に早く到達している。
- 2)着荷主での荷下しに平均 2 時間以上かかっている。
- 3)輸送時はパレットを利用しているが、パレットを持ち帰る必要があるため商品をパレットからバラし、手下ろししていた。

### 3.業務効率化の具体的な対応

- 1)トラック受付・予約システムを活用
  - 2)荷下し時間短縮のために貨物をパレット下ろしに切り替え
    - ①パレットプールシステム(複数の荷主が同一のパレットを共同利用するシステム)を利用し一貫パレット輸送体制にする。
    - ②パレットの積み付け方法(配数、段数)を自動倉庫にそのまま格納できるようにタテ、ヨコ、高さのサイズを調整。
- ※結果 パレット積数の減少(配数 12→10)段数(7→8)パレット積数 84→80)

### 4.実証実験の結果

- 1)労働生産性が 44%向上(18 時間/12.5 時間=1.44)  
荷待ち時間の平均時間が 4 時から 53 分に、荷役時間の平均時間が 2 時間から 27 分に短縮、合わせて 1 日の作業時間が 6 時間から 1 時間 20 分に短縮された。それに伴い 1 日の拘束時間が 18 時間から 12 時間 30 分に短縮された。
- 2)積載率の向上 時間短縮によりトラックの帰り荷の確保が可能となり積載率が向上した。  
(発荷主のメリット)  
納品時のパレット積み替えがなくなり、商品事故リスクが低下した。  
(運送事業者のメリット)
  - ①ドライバーの拘束時間が大幅に短縮した。
  - ②フォークリフトの荷役となったためにドライバーの疲労が軽減した。
  - ③予約による運行計画の精度が高まり、帰り荷などの業務組み合わせの自由度が高まった。
 (着荷主のメリット)
  - ①物流センターのバース滞留時間が短くなった。
  - ②荷下ろし後に、すぐに自動倉庫に格納できるようになった。

